

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	5 地域情報化の推進
-----	------------

施策主管課	情報政策課	総合計画記載頁	142ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	24 行政経営基盤を強化する	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の行政運営を効果的・効率的に行うことで、行政経営基盤が強化されています。
------	-----------------------------	----------------	----------------	---------------------	--

2 施策の取組状況

施策目標	ICTが有効に利活用され、行政サービスの利便性と行政経営の効率性が高まっています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	身近な行政手続きの電子化率(%)	単年度目標値	53.3	60.0	80.0	80.0	100.0			100.0	A	指標2	携帯電話普及率(%) (PHSを含む)	中核市平均	92.0				
		現状値	53.3%	実績値	53.3%							実績値	93.3							
		目標値(H29)	100%	単年度の達成度	100.0%							中核市での本市の順位	17位/41市中							
		単年度目標値									指標3	パソコン普及率(%)	中核市平均	75.5					B	
		現状値		実績値								実績値	76.3							
		目標値(H29)		単年度の達成度								中核市での本市の順位	20位/41市中							
		単年度目標値									③ 市民意識調査結果	施策の満足度(%)	調査結果	H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
		現状値		実績値								調査結果	33.2%							
		目標値(H29)		単年度の達成度								目標値(H29)	42.4%	前年度からの増減						

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$

※評価の考え方

施策指標 A:達成度90%以上 B:達成度70%~90%未満 C:達成度70%未満

中核市等との水準比較(中核市での本市の順位) A:上位1/3(1~14位) B:中位(15~28位) C:下位1/3(29位以下)

市民意識調査結果(満足度) A:前年度より向上(2%超) B:前年度同水準(±2%以内) C:前年度より低下(−2%未満)

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	◆身近な行政手続きの電子化率 ⇒物品購入及び製造請負契約に係る電子入札の全業種への導入拡大の準備が整い、平成25年4月から運用開始されることや市税等の納付の電子化に向けた具体的な取組についての検討を進めていることから、今後、身近な行政手続きの電子化率の向上が見込まれる。	市民満足度		進捗の状況	概ね順調
------	--	-------	--	-------	------

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	地域情報化計画の推進及び推進組織の運営		情報システム最適化の推進、身近な行政サービスの電子化の推進、情報提供・コンテンツの充実、ICT利活用促進に向けた支援の充実、情報セキュリティ対策の推進	市民、事業者	・第3次宇都宮地域情報化計画に係る施策事業の推進及び進行管理	H13	第3次宇都宮地域情報化計画の重点施策を中心とした取組を着実に進めるため、宇都宮地域情報化推進本部を主体とした庁内横断的な推進体制の下、ワーキンググループや学識経験者で組織する庁外組織「宇都宮地域情報化推進専門会議」を効果的に活用し、計画推進の実効性を確保する。
2	情報システムの最適化		情報システム最適化の推進	市民、事業者、職員	・業務及び情報システムの更なる効率化・高度化 ・情報システムの維持管理経費の適正化	H23	市民サービスと事務効率の更なる向上及び情報システムに係る費用対効果の更なる向上に向け、業務・システムの効率化・高度化やシステム維持管理経費の適正化を図るため、情報システム調達ガイドラインの策定や情報システムの統合集約に係る共通基盤の導入などの取組を進めていく。
3	公共施設予約システムの運用（行政サービスの電子化の推進）	○	身近な行政サービスの電子化の推進	市民、事業者	・公共施設予約システムの運用、対象施設の拡大 ・電子申請届出システムの検討	H19	行政手続きの電子化による行政サービスの充実を推進するため、市税等の納付などの身近な手続きの電子化に向けた取り組みを進めるとともに、ワーキンググループを効果的に活用し、効果的・効率的に市民の利便性向上に資する電子行政サービスの導入に向けた検討を進めていく。
4	地上デジタル放送受信対策事業		情報提供・コンテンツの充実	地上デジタル放送難視世帯	・難視地区における良好な電波受信の確保に向けた支援	H21	地上デジタル放送の共聴施設整備による恒久的難視対策は一定終了していたが、難視地区の一部において、国の対策案が高性能アンテナ整備から共聴施設整備に変更されたことにより対象世帯への早急な支援が必要となったため、地元住民の意向を踏まえた支援を行っていく。
5	地理情報システムの整備		情報提供・コンテンツの充実	市民、事業者、職員	・地図情報のデータベース化による事務の効率化 ・地図を活用した情報の市民への提供	H12	視覚的に分かりやすい地図情報システムを活用し、市民の利便性向上や行政内部の事務の高度化・効率化を図るため、システムへの防災、観光、交通等に関する情報の充実強化を進めるとともに、地図情報の活用促進に向けた市民・事業者への周知啓発や庁内連携等の取組を進めていく。
6	電子入札事務		市民・事業者の情報リテラシーの向上	入札参加資格登録者。市が発注する、建設工事、コンサル、物品購入等の入札契約	入札執行に係る一連の事務をインターネットを活用して実施	H16	電子入札の対象業務が、平成25年4月より、130万円以上の建設工事、全てのコンサル、及び全ての物品購入に拡大し、導入が完了したことから、今後は、適切な入札執行のために、電子入札システムの円滑な運用に努めていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆ICT(情報通信技術)は進展がめざましく、新たな技術の普及・台頭により市民等のニーズも常に変化することから、本市の情報化施策においても、進展するICTの恩恵を市民が実感できるよう、最新のニーズや技術動向を捉え、市民等の視点に立った効率的で効果的な事業を展開する必要がある。</p> <p>◆情報化の推進に当たっては、ICT利活用促進に向けた支援を充実し、市民・事業者の情報リテラシーの向上を図ることが重要であるが、一方では、高齢や障がいがあることやインフラの整備状況などの理由から、ICT利用に困難を抱える者もいるため、ICT利活用能力や環境によって受けられるサービスに格差が発生・拡大しないような対応について検討を進める必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆宇都宮地域情報化推進本部において施策全般に係る方向性を整理するとともに、学識経験者で組織する専門会議からの意見等の聴取やワーキンググループにおける具体的な実施方策の検討及び課題の解決を図りながら、着実に施策の推進に取り組んでいく。 ◆今後も厳しい財政状況が見込まれることから、持続可能な財政構造への転換に向け、経常経費の節減・合理化に資する取組を緊急に進める必要があるため、情報システム最適化の推進に当たっては、総合計画実施計画事業に計上するとともに、事業スケジュールや事業規模に合った組織体制で取組を推進する必要がある。</p> <p>〈主要事業〉 ◆身近な行政サービスの電子化の推進に当たっては、インターネット等の新たな情報通信技術の進展やスマートフォン・タブレット端末の普及などのICTを取り巻く環境の変化を捉え、既存サービスの拡充や新たな市民等のニーズを踏まえた取組を展開していく。 ◆情報提供・コンテンツの充実の推進に当たっては、市ホームページや携帯サイト、SNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)等を活用した情報提供の充実による市民の利便性の向上を図るとともに、災害・防災対策の向上に係る情報提供の充実にも併せて取り組んでいく。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆情報システム最適化の推進に当たっては、ICT(情報通信技術)の進展が著しい中において中長期の取組となることから、ICTを取り巻く環境の変化を常に意識し、必要に応じて実施方策や推進スケジュールの見直しを図りながら、より効果的・効率的な取組を進めていく。</p>